

【教科】 【科目】	【情報科】 【情報 I】	2 年	2 単位	教科書	東京書籍 新編 情報 I	副教材等	東京書籍 情報 I Step Forward!	履修対象・ 使用教室 等	2 年生コンピュータ 情報処理室・HR 教室	
教科・ 科目の 目標	(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得できるとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるとする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。									
評価の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	情報と情報技術についての知識と技能，情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに，情報社会と人との関わりについては，情報に関する法規や制度及びマナー，個人が果たす役割や責任等について，情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。			情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え，複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養うとともに，問題を発見・解決する各段階で情報と情報技術を活用する過程を振り返り改善することで，情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。			情報と情報技術を適切に活用することを通して，法規や制度及びマナーを守うとする態度，情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い，これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い，「A：十分満足できる」状況 B：「概ね満足できる」状況 C：「努力を要する」状況」とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて，学習全体の総合的な評価を行ったものを「5 段階の評定」とする。									
評価 資料・ 評価 比重 (100点換 算)	評価資料等				知識・技能				主体的に学習に取り組む態度	
	確認テスト				90%					
	検定試験				10%					
	家庭学習				Life is Tech Lesson					
	夏・冬休みの宿題				授業の進行員会によって演習問題またはレポート課題を課す					
	授業態度				頑張っている姿勢が見られたら加点します。					
	(観点別配分%)				(3 観点の比重を%で示しています)					
月進行 (計画)	【単元名】 学習項目名	配 当 時 間 (計画)	学習内容・目標 (到達点) など				主な評価資料		評価の重み付け(○●)	
							知・技	思・判・表	態	
4 5	・ガイダンス ・文書処理ソフトウェアの操作 ・教科書 1 章～1	12	・Society 5.0 から情報の学習目標とシラバスを理解する。 ・実用用コンピュータの使い方を理解する。 ・文書処理ソフトウェアについて，書式の設定や配置の変更など基本的な操作を学習する。 ・文書処理ソフトウェアで図，表，画像を利用する方法を学習する。 ・ディレクトリやファイルの操作について学習する。 ・情報の特性から，情報とは何かを理解する。 ・さまざまなメディアの特性を理解する。				確認テスト	○	○	
							課題	○	○	
							家庭学習			○
6 7	・教科書 1 章～2 ・教科書 1 章～3 ・教科書 1 章～4 ・教科書 1 章～5 ・教科書 1 章～6 ・教科書 1 章～7 ・教科書 1 章～8 ・教科書 1 章～9 ・教科書 1 章～10	12	・問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。 ・問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。 ・情報解決の各場面 で活用できる発想法を学習する。 ・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・情報社会の安全を守るための，法規や制度および個人の責任について学習する。 ・個人情報とはどのようなものか理解する。 ・SNS を通して個人情報流出・特定される仕組みを学習する。 ・SNS 等の不適切な使い方による問題を理解する。 ・ソーシャルエンジニアリングにより不正に情報が盗まれることを理解する。 ・著作権について理解する。 ・引用の仕方を理解する。				確認テスト	○	○	
							課題	○	○	
							家庭学習			○
8 9	・表計算ソフトウェアの操作 ・データの形式 ・データベースの活用 ・さまざまなデータモデル ・データ分析の流れ	12	・表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など，基本的な操作を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの数式の利用を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの関数の利用を学習する。 ・ディレクトリやファイルの操作について学習する。 ・データとは何か学習する。 ・データの尺度とは何か学習する。 ・データベースの役割などどのようなものか理解する。 ・社会でのデータベースの活用例を学習する。 ・データベースで使用するデータモデルについて学習する。 ・データ分析の流れと方法を学習する。 ・分析の目的に合わせたデータの利用方法を学習する。 ・適切なデータの解釈方法を学習する。				確認テスト	○	○	
							課題	○	○	
							家庭学習			○
10 11	・教科書									

学習の アドバイス	<p>・世の中には様々な情報で溢れています。皆さんが日常で行う何気ない会話、撮影した写真、SNSに登録した内容、それらすべてが貴重な情報です。情報Ⅰでは授業を通してコンピュータの扱い方を中心に取り扱って、これらの情報を正しく扱い、効果的に活用できるようにしてほしいと思っています。普段から情報や情報に関する技術に関心を持ち、身近にあるスマートフォンやPC等を通じて、スキルアップの機会を意識してください。</p> <p>・情報の授業は担当者の授業部に対しては身にさせます。コンピュータ操作が苦手な人はまずはそこから始めてみましょう。得意な人は様々な機能で自分しか作れないような作品を作るなどする考えてみてください。また、普段の取り組みや提出物は成績に大きく反映されます。授業の時間だけでは課題が足りないこともあります。放課後を活用し、必ず提出物は全て出すようにしてください。</p>
--------------	---